

Week of July 30 - Small Group Lesson Lesson 7

知り合う

どうすれば、世界に良い変化をもたらすことができるでしょう？あなたの答えは、通りの向かいに住む人と どのように異なるでしょうか？それは、なぜですか？

聖句 – ガラテヤ人への手紙 5:19-26 (聖書協会共同訳)

19 肉の行いは明白です。淫行、汚れ、放蕩、20 偶像礼拝、魔術、敵意、争い、嫉妬、怒り、利己心、分裂、分派、21 妬み、泥酔、馬鹿騒ぎ、その他このたぐいのものです。以前も言ったように、ここでも前もって言いますが、このようなことを行う者は、神の国を受け継ぐことはありません。22 これに対し、霊の結ぶ実は、愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、23 柔和、節制であり、これらを否定する律法はありません。24 キリスト・イエスに属する者は、肉を情欲と欲望と共に十字架につけたのです。25 私たちは霊によって生きているのですから、霊によってまた進もうではありませんか。26 思い上がって、互いに挑み合ったり、妬み合ったりするのはやめましょう。(聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会 Japan Bible Society, Tokyo 2018)

学び

1. a. パウロが言及する19-21節の「肉の行い」はクリスチャンにも見られるのでしょうか。もしそうならば、クリスチャンはどのようにして「神の国を受け継ぐ」ことができるのでしょうか？

   b. 自分が本当にクリスチャンであるかどうかは、どうすればわかりますか？（22-23節; ヨハネ 14:10-12; ヨハネ 7:38）

   c. 御霊の実は、未信者にもあるのでしょうか？(1コリント2:14; ローマ8:7-9)

2. パウロは、「肉の行い」と、信者が聖霊に導かれたときに生み出される特徴的な性質を対比させて説明しています。（22-23節-具体的な行動は特定されていないことに注意）

   御霊に導かれて歩むとはどういうことなのでしょうか。
   (23節b、ガラテヤ5:1、ヤコブ1:25、ローマ12:2）

🏃**適応:** イエス様はどのように御霊の中を歩まれたのか？あなたはどのようにできますか？（エペソ 5:1-2）

☕ **ディスカッション:** パウロはこう書いています： キリスト・イエスが世に来られたのは、罪人を救うためであり、その罪人の長は私です。(1テモテ1:15)

私たちが肉と闘うとき、パウロは私たちに何を心に留めておいてほしいと願っているのでしょうか？（24節、ガラテヤ2:20）私たちは彼から何を学ぶのでしょうか？

シェア

パウロは、御霊のうちに歩むようにと促した後（25節）、エペソの信徒たちにうぬぼれないようにと警告しています。（26節）

今までクリスチャンとして、霊的に成長していると思っていたのに、慢心に陥っていたことに気づいたことはありますか？ あなたの経験とその対処法を教えてください。

成長

賛美と具体的な祈りの課題を分かち合うことによって、互いに仕えましょう。

- 私たちがキリストによってのみ新しく生まれ、聖霊によってのみ御霊の実を結ぶことを真実なものとすることができるよう祈りましょう。
- 私たちがこのことをより深く理解し、聖霊にさらにゆだねることができるように、そして神が私たちを高慢とねたみの誘惑から解放してくださるように祈りましょう。